

# 中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

## わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより 令和5年8月10日発行

### 8月の主な行事予定

- 8月 4日(金)市町村・社会教育関係団体連携協議会
- 8月10日(木)子育て・家庭教育支援員養成講座②
- 8月18日(金)第48回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
- 8月23日(水)鳥取県人権教育アドバイザー及び市町村人権教育担当者等研修会
- 8月24日(木)子育て・親育ちファシリテーターフォローアップ研修
- 8月25日(金)鳥取県地域コーディネーター養成講座③

### 今こそ社会教育の出番です！

7月27日に第1回の新任生涯学習・社会教育担当者研修会が開催されました。今回は、公民館主事も対象として行い、まずはアイスブレイクで楽しみながら、互いの距離を縮めていきました。仲良くなった雰囲気の中で、「社会教育担当者の仕事について」の講義を聞きました。さらにグループに分かれての情報交換会では、テーマに沿ってフリットトークを行い、業務の悩みや疑問など語り合いました。

最後には、先輩アドバイザーに聞いてみたいことを各グループから一つに決め、体験談を交えながら悩み解消につながるアドバイスをいただきました。

次回1月の再会を楽しみに、みなさんが充実した研修で終えることができました。今後更なる活躍に期待しています！



### 【I】いつも【C】ちょっと【T】トラブル

7月12日、第3回鳥取県社会教育関係者のための活用研修会がありました。今年度最後のICT研修会として、参加者自身が今後オンライン会議や研修等で、ホストとして開催できるように、スキルアップをねらった研修会です。

当日は5グループに分かれ、実際に会議を開く予定で会議を予約し、参加者に通知したリブレイクアウトルームに割振りたりするホスト役と、参加するゲスト役を順番に実践していきました。

中には、マニュアルに大事なことを書き込んだり、機器の配線を画像に残したりと真剣に取組まれていました。余裕がでてきた頃には、背景画面やアバターを使うなど、細かい設定にもチャレンジされていました。

来年度は、カメラワークや音声機器を駆使した更なるステップアップを期待する参加者が多くいました。





## 集え！西部の元気人！

先月、久しぶりに大山青年の家にて「七夕学校」が開校されました。学校のように時間割があり、朝の集いでは音読やラジオ体操、1限の学活では、ジェラートで地域おこしの実践をされている、元FM山陰益村アナウンサーの授業がありました。

給食後の授業は選択科目となり、顔ヨガ・音楽療法・大山の歴史・野草茶体験など、興味深い内容が盛りだくさん。西部に長年受け継がれた「**社会教育の底力**」を感じました！



## 子どもとしっかり向き合おう

6月から延期されていた「第1回子育て・家庭教育支援員養成講座」が、7月に実施されました。県の行政説明の他、オンラインで文科省家庭教育支援室の講義がありました。

参加者は、県の現状を把握するとともに、全国的な現状と課題や参考となる家庭教育支援チームの活動事例を知ることができました。さらに短時間ではありましたが、今後の取組に生かせるよう、それぞれの地域での情報交換も行いました。



## ちゅうぶくん

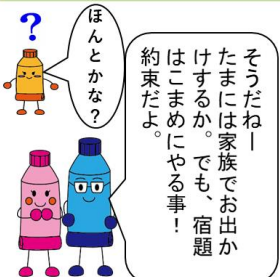
～あー夏休み～

by石ちゃん

今年も待望の夏休みがやってきました！  
楽しみだな



去年は、コロナでどこにも行けなかったから、旅行、海、山、色々な所に行きたいな！



ほんとかな？  
そうだね！  
たまには家族でお出かけするかも。でも、宿題はこまめにやる事！  
約束だよ。

お父さん、お母さんどこか連れて行ってよ。お願い！



お兄ちゃんは、相変わらずだな！

ちゅうぶくんはいつも追いつけませんでした。

あ～夏休み～

シャリット

## もっと知り隊！



### 第1回 社・関金「健康麻雀交流大会！」

「飲まない 吸わない 賭けない」を合言葉に、中部地区でも話題になりつつある「健康マージャン」。今回は、関金コミュニティセンターと社コミュニティセンターの交流大会にお邪魔しました。互いに実践されている地域同士で、今回が初の交流大会となりました。今大会は各16名、計32名が参加され、関金地区からは2名の女性も参加されました。指先や頭を使うので健康はもとより、互いの交流の場ともなっているようです。参加者は、和気あいあい以上に真剣勝負の本気モードでした。来年もみなさんが元気であれば？今度は関金コミュニティセンターで、第2回を開催したいとのことでした。

老若男女問わず、熱中できるものや憩いの場があるといいですね！



### 【あとがき】

6月の終わりに、私もおじいちゃんになりました。我が子が生まれた時の記憶が薄れているのか、実際に見ると、3千グラム以上あるのにとっても小さく感じました。こんな小さな存在が、一人前になっていくのかと、しみじみ思いました。親にとっては、祖父母のように客観的に見る余裕もなく、何事も初めてな今が精いっぱいだと思います。そうやって子どもも親も共に成長していくのでしょうか。私も、まだまだ元気なおじいちゃんであり続けたいと思います。楽しみが、また一つ増えました。

中部教育局 社会教育担当係長 徳永正樹

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail tokunagama@pref.tottori.lg.jp

